

EA300H - 1
(熔接熔断セット)

サイズ 720X380X290mm

重量 26kg

逆火防止器付(サイズ:M22)

ホース 4m(内径:4.5mm)

長いホース、延長ホースは使用不可。

アセボンベ 3.6L(重量:約4.3kg)

酸素ボンベ 3.4L(重量:約5.1kg)

ガスは充填されておりません。

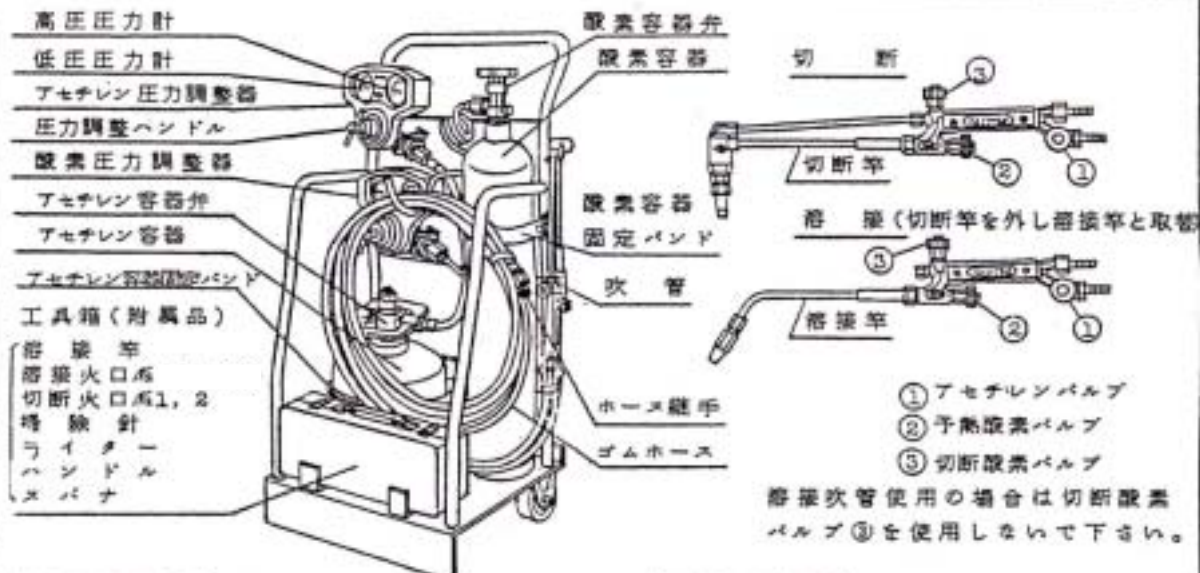


重要

高圧ガス関連機器はその取扱いを誤ると火災、爆発などの重大事故につながる危険性がありますので、十分に注意して従事してください。また、作業者は必ず「ガス溶接技能講習終了証」「ガス溶接作業主任者免許」「その他労働大臣が定めるもの」のいずれかを有している者(もしくは有資格者から指導を受けた後、本取扱説明書を読み、理解した者)しか、操作できません。

オープンチヨバツク取扱説明書

300 H-1型 (アセチレン用)
300 H-2型 (LP用)



作業準備 (酸素、アセチレン共)

	ゴムホースのホーム継手を圧力調整器の出口に接続。
	圧力調整ハンドルがゆるんでいるかを確認。ゆるめずに容器弁を開くと2次圧力計等が破損することがあり危険です。
	アセチレン及び酸素容器弁を開く。 /次圧力計が上がり容器内圧力を指示します。
	圧力調整ハンドルをゆっくり矢印方向に回せば2次圧力計が上がります 酸素 2~3 kgf/cm ² アセチレン 0.2~0.3 kgf/cm ²

火炎調整

1. アセチレンバルブを少し開き、ライターにて点火。
2. 予熱酸素バルブとアセチレンバルブを除々に開き、標準火炎に調整。
3. 切断の場合、切断酸素バルブを開きますと、切断酸素が噴出し切断が出来ます。

消火

1. 予熱酸素バルブを閉じる。
2. アセチレンバルブを閉じる。

作業終了 (酸素、アセチレン共)

1. 容器弁を閉じる。
2. 吹管の予熱酸素バルブを開き、圧力を零にしバルブを閉じる。続いてアセチレン側も同様に零にする。
3. 圧力調整器の圧力調整ハンドルをゆるめる。
4. ゴムホースを整理し、吹管と共に掛ける。

注意事項	○落下衝撃は絶対にさけて下さい。	○作業現場を離れる時は、必ず容器弁を閉じる習慣をつけて下さい。
	○直射日光はさけて、40℃以下に保つて下さい。	○別添容器譲渡証明書に依つて所有者登録申請をして下さい。
注	○火気は絶対に近づけない様にして下さい。	○ガスの充填はご購入の販売店に申し付け下さい。
	○各接続部は、石けん水等で定期点検をするようお願いします。	